

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 6 月 17 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870501438		
法人名	有限会社 芳光		
事業所名	グループホーム おくじま		
所在地	愛媛県新居浜市北新町1番52号 (電話) 0897-65-3093		
管理者	山内キシエ		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 5 月 23 日	評価確定日	平成 20 年 6 月 18 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 4 月 30 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 5 月 23 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 16 人, 非常勤 人, 常勤換算 16 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 4 月 30 日事業所記入)

利用者人数	17 名	男性 1 名	女性 16 名
要介護 1	2 名	要介護 2	4 名
要介護 3	6 名	要介護 4	5 名
要介護 5	名	要支援 2	名
年齢	平均 84.8 歳	最低 75 歳	最高 94 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは住宅地の中の複合型介護施設の2階にある。開設当初に職員で話し合って理念を作り、地域とのふれあいを大切にし、個人の意思を尊重し、自立した生活が送れるよう全職員で支援している。近くの公民館で催されるイベントに参加し、幼稚園、小学校と交流を重ね、併設のデイサービスの行事にも参加している。個人の誇りを大切に、常に「いい言葉かけをするよう努めている。重度化や終末期に向けては家族の要望を充分取り入れ、医師と連携をとりながら対応している。専門家によるカロリーチェックを行い、塩分・糖分控めの策

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

健康管理面では個人の健康状態を詳細に把握するため受診記録を個人別に記載するようにし、また個人の希望にそって外出や買い物の機会を多く設けるよう改善に取り組んでいる。災害対策として、利用者を交えた全員参加の訓練を夜間想定で実施するよう指摘されたが、検討課題として残されている。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

全職員で意見を出し合い、ユニットごとに自己評価を行っている。特に健康管理面に関しては受診記録を個人別の記録に改め、一人ひとりの健康状態をより詳細に把握するよう努めている。居室での転倒予防に関しては、いすを備えるなどの予防策をとっている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

2か月に1度、定期的に会議を開催している。毎回、8名程度の出席者を得て、様々な希望や意見を聞き取り、ケアの改善に活かしている。出席者の所属・役職名等や発言者の氏名等を明記し、分かりやすい様式に改めることが求められる。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の来訪時に生活の様子や健康状態を具体的に報告し、家族からも希望や相談等を聞き取っている。また、ホーム便りを定期的に届け、ホームでの生活の様子を写真もまじえて伝えている。今後は外部の苦情相談窓口を書類に明記し、家族にも周知徹底するよう、改善に向けて取り組んでいる。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

地域住民とのふれあいを大切にし、公民館で開催される定期的な老人会などのイベントに参加している。小学校で給食を共にしたり、幼稚園の餅つき大会などにも参加している。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームおくじま
 (ユニット名) 和ユニット

記入者(管理者) 山内キシエ
 氏名

評価完了日 平成 20 年 4 月 30 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設当初にスタッフ自身で理念を構築し掲げている。 (外部評価) 開設時に職員で話し合っただめた理念「地域住民とのふれあいを大切にし、個人の意思を尊重し、笑顔で過ごせる支援」を全職員で大切にしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念はスタッフルームに掲示し、日々のケアで迷ったときに確認し理念に基づいたケアをしている。 (外部評価) 毎月のミーティングの中で常に理念に立ち返り、全職員が共有し合っただ体的にケアに活かせるよう努めている。理念は受付、事務所などに掲示し、職員間での意識付けと来訪者への啓発に役立てている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 入居時に理念を伝え同意を得ている。玄関先にも理念を掲示している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日頃から挨拶を心がけ、野菜や手作り品をいただいたりしている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 老人会のカラオケ、輪投げ、幼稚園の餅つきなどの催しに参加させてもらっている。 (外部評価) 近くの公民館で開催される老人会などの定例イベントに参加したり、小学校で給食を共に楽しんだり、幼稚園の餅つき大会などにも参加している。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 同事業所の居宅や通所介護から地域の情報がはやり、一緒に話し合っている。地域の看護学生の実習を受け入れしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価の意義は全スタッフに伝え、前回の結果を元に話し合いをしている。前年度の評価を踏まえ外出の支援や健康管理の支援に具体的に取り組んでいる。 (外部評価) 前回評価で指摘された点のうち、健康診断は個人別に記録する、外出の希望にはできる限り応じる、ていねいな言葉遣いに努める、などは職員が話し合って改善に取り組んでいる。しかし、利用者を交えた夜間想定災害訓練は今後の課題として残されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 利用者の状況、評価の結果等は随時報告し、参加者に意見をもらっている。会議の内容はスタッフに伝えケアに反映している。 (外部評価) 2か月に1回、8名程度の参加を得て開催している。会ではホームでの生活の様子を具体的に報告し、出席者から意見や希望を聞き取り、サービス向上に活かしている。出席者の所属や発言者の氏名等が記載されていないので、会議録全体がつかみにくい。	※	出席者の所属や発言者の名前等も会議録に明記し、分かりやすい記載方法に改善することが求められる。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 何かあるときは市役所に出向き担当者と連絡を取っている。 (外部評価) 運営推進会議等で市担当者とは十分な情報交換を行っている。会議以外にも必要時には情報交換を行い、ケアの改善に役立っている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修で学び職員にも伝えている。パンフレットを準備し必要時対応出来るようにしている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 機会毎に日々振り返り、互いに意見が言えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 必ず充分な時間を持ち話し合いをしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日々話を充分聞くよう心がけ、家族とも相談し希望に添えるよう改善に努めている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会が多いので来所時に伝えたり、必要時は電話連絡している。また、毎月手紙で近況を知らせたり「おくじま新聞」を発行している。金銭はお小遣い帳で管理し来所時確認してもらっている。 (外部評価) 家族の来訪時には、月1回程度は定期的に金銭出納帳を確認してもらい、利用者の生活の様子や健康状態を具体的に知らせている。またホーム便りを数か月毎に発行し、家族に届けて情報を伝えている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 来所時に話す機会を持っている。意見箱を設けたり、外部機関のパンフレットも提示している。 (外部評価) 家族の来訪時には意見や希望を聞き取っている。ホーム内には苦情受付窓口を設けているが、外部機関等は明記されていない。	※	家族からの声を積極的に聞き取り、家族が意見を表す機会を確保するため、外部の苦情相談窓口を書類に明記し、また家族にも説明して把握してもらい取り組みが求められる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者と職員は毎日顔を合わせている。ミーティングの内容はスタッフより運営者に伝えるようにし、直接話す機会にしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 入居者の生活時間に合わせ考慮している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ユニットでスタッフは固定している。新しいスタッフは顔馴染みの関係が出来てから夜勤に入るようにしている。 (外部評価) ユニットごとの職員配置は固定しており、新しい入居者には全職員でフォローし、戸惑いのないよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 経験に合わせ研修に参加出来るようにしている。毎月勉強会を実施している。臨時でもカンファレンスシケアの確認をしている。 (外部評価) 毎月ホーム内で勉強会を行い、ホーム外の研修にも習熟度等に応じて参加している。参加者は報告書を作成し、ミーティングの際に報告を行い、全員で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 市内の管理者の交流会に参加したり、相互評価に参加し研鑽の機会にしている。 (外部評価) 近くのグループホームと協力して研修を重ねており、管理者は市内のホーム管理者と情報交換を機会あるごとに行い、具体的にケアの向上に活かしている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 勤務シフトに本人の希望を組み込み、無理のない勤務にしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者とは毎日情報交換しており働きやすい職場作りを心がけている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居にあたり事前に本人とも会い、家族からも状況を細かく聞いている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居にあたり家族の状況、困っていることを充分聞くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 空き室の状況により本人、家族の思いに添えるよう他のサービス機関とも連絡をとるようにしている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居にあたり、体験入居のシステムもあり。入居当初はなるべく家族の訪問をお願いしている。 (外部評価) 利用希望者や家族がホームを訪ねて生活の様子を見学し、さらに必要に応じて1泊の体験利用も受け付けながら、徐々に馴染めるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 生活場面で入居者から教えてもらうことも多く、スタッフと一緒にすることを心がけている。 (外部評価) 日々の生活の中で、各々の好みや力に応じて出番を多く見つけ、共に支え合いながら楽しみを分かち合っている。手伝いなどが難しい利用者には声かけを心がけ、心のふれあいに努めている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の状況を踏まえ医療受診などは家族にお願いし、情報交換に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会、外出など家族の都合に合わせてしてもらっている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 近所の方や友人の面会もあり、同じ時間が共有出来るようにしている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 一緒に外出したり洗濯物を片付けたりして関係作りに努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居時に、今後の生活に不安がないよう他の事業所とも連絡をとり援助している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 普段の話しや生活の中から本人の気持ちを汲み取るように努め、常に本人の思いを大切にしている。 (外部評価) できる限り声かけを多くし、本人の立場から何を望んでいるのか把握に努めている。家族の声も機会を捉えて聞き取り、ケアに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時に家族や担当のケアマネとも連絡をとり、生活歴やサービスの利用状況の把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活ペースや出来る事などの現状の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人、家族の希望を踏まえスタッフ間で話し合い介護計画書を作成し家族に確認してもらっている。 (外部評価) 毎月ミーティングで本人の生活の様子を全職員で話し合い、家族の希望も聞き取りながら、必要な場合はかかりつけ医に相談しながら、本人本位の計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月毎に見直し計画している。日々の変化に応じ適宜話し合いをし計画変更をしている。 (外部評価) おおむね3か月に1度の見直しを行っているが、それぞれの利用者の生活の様子や健康状態を考慮しながら、臨機応変に見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子を個別に記録し、情報を共有しケアに生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 必要に応じ家族、本人と相談しスタッフと買い物をしたり他の事業所を利用したりしている。 (外部評価) 付設のデイサービスの音楽会や夏祭りの行事などに参加したり、外出を好む利用者は車で出かけ、散歩を希望する利用者には安全に気をつけて支援を行っている。また付設の高齢者用賃貸住宅の入居者との交流も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員の方には運営推進会議の委員になってもらっておりグループホームへの理解、協力をしてもらっている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じ連絡を取っている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要に応じ連絡を取っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居までの主治医をかかりつけ医にしてもらっている。受診時入居中の様子を情報提供をしている。 (外部評価) 定期的な受診は家族にお願いしている。受診結果の内容は詳細を個人別に記録し、利用者の健康管理には十分注意を払って支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要時、家族ともよく相談し専門医受診している。受診の際には情報提供をしている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師が常勤しており健康管理している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には介護要約を情報提供し、医療連携室とも連絡を取り合っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居時に説明しており、重度化が予測された場合早めに家族や主治医と相談している。 (外部評価) 看取り介護に関してはマニュアルに沿った学習を行い、家族の要望を充分取り入れ、主治医等と連携をとりながら対応にあたっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 協力医療機関とも話し合いをもったり今後に向けて準備している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 家族や関係者で話し合いや情報交換をスムーズに移行出来るように努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 排泄の声かけや下着の交換時には他の入居の方にも配慮しさりげなくしている。 (外部評価) 親しさからぞんざいな言葉かけをしないよう、利用者の誇りを大切に言葉かけに努めている。個人情報に関しては全職員が充分理解し、適切に対応している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望がわかるような場面作りをし穏やかに過ごせるように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 日々の決まり事はなく入居者の様子に合わせて散歩したり居室で休んだりして過ごしている。 (外部評価) 声かけを大切にしながら、利用者のその日の気持ちや状態に応じて、希望に合った楽しい生活ができるよう支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ご自分の好みの服装やおしゃれをしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人ひとりの嗜好を知り、献立に配慮している。湯のみや茶碗は自分の物を使ってもらいスタッフと一緒に食事や片付けしている。 (外部評価) ほとんどの利用者が食前の手伝いを依頼することは難しいが、食後の片付けが可能な利用者には極力手伝ってもらっている。食事介助の必要な利用者には傍らに座って声をかけながら支援し、全員が食事を楽しめるよう配慮している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 現在飲酒、喫煙される方はいない。飲み物、おやつなどは本人の嗜好、嚥下状況に合わせて工夫している。居室で自由に飲食されている方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄のパターンを知り適宜トイレに誘ったり・個人の状況に合わせて尿取りシートやパット、紙パンツなどを使い分けている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴日の決まりはなく、気持ち良く入浴出来るように声かけに努めている。 (外部評価) 本人の希望にあわせて入浴支援を行っている。入浴を嫌がる利用者には居室でじっくり話すなど工夫し、3日に1度は入浴して寛いでもらえるよう努めている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 消灯時間は決まっておらず、本人のペースで休んでいる。寝付けないうちは、一緒にお茶を飲んだり、話したり穏やかに時間を過ごしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) その日の入居者の様子に合わせて塗り絵やゲームをしたり、散歩に出たりして日々過ごしている。 (外部評価) 洗濯物たたみ、掃除、食後の片付けなど、できる限り出番を持ってもらうよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自分でお金を持っている方もあり、普段は預かり一緒に買い物に出る方もいる。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 希望や天候に合わせて散歩に出たり、老人会のカラオケや輪投げに外出したりしている。朝の買い物と一緒に外出できるように買い物の仕方を工夫したりしている。 (外部評価) 利用者の希望に沿って散歩や買い物に出かけている。また近くの公民館で催される老人会の定例行事などにも参加している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族と共に外出する機会をもっているが、お誕生日には個別に買い物、外食などを楽しんでいる。本人、家族の状況に合わせて自宅までドライブすることもある。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望時電話をしている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 家族、知人などの訪問は多くある。下の住宅から訪問してくれる方もおり、居室やリビングで話されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束はしていない。スタッフ全員が拘束しないケアが念頭にあり互いに協力している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけておらず、玄関は鈴をつけ知らない間に出ていくことのないように気配りしている。 (外部評価) 利用者の心理的圧迫を避けるため、日中は施錠していない。玄関には鈴をつけ、全職員が利用者の安全性には細心の注意を払っている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 居室で休んでいる方もさりげなく様子をみている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状況に合わせて家族と相談しながらしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 些細な変化や行動もスタッフが情報共有し、インシデント報告を心がけ未然に防げるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 事故発生時のマニュアルがあり、落ち着いて対応出来るよう見直し確認している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 緊急連絡網があり職員が協力する体制にある。運営推進会議などを通じ地域の方にもお願いしている。 (外部評価) 緊急時マニュアルを作成し、日中想定 of 職員による災害訓練を年に2回行っているが、利用者を含めた夜間想定 of 災害訓練は行われていない。マニュアルをファイルに綴じているので、緊急の際に即座に役立てることが困難と思われる。	※	マニュアルは、緊急時には即座に手にとって見られるよう、ホームの要所要所に備えておくことが求められる。また、夜間想定 of 利用者も交えて of 実践的な訓練を毎年実施することを望む。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切に of 対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時にリスク対応について説明している。日頃から家族とはコミュニケーションをとり、予見出来るリスクについては話をし理解してもらっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化 of 早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変 of 発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルサインを測定し、異常時は看護師に報告するようにしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬 of 目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬 of 支援と症状 of 変化 of 確認に努めている	(自己評価) 薬 of 目的、用法、用量などは誰が見てもわかるように一覧にし、薬変更時は申し送りで伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便に留意したケアを心がけ、水分摂取や腹部マッサージ、ホットパックなどを行っている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 個々に合わせ声かけや介助している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事は毎食記録している。無理なく水分摂取できるよう献立に配慮し、本人の経口摂取能力に合わせて適宜健康飲料水なども利用している。 (外部評価) 食事量、水分摂取量を記録しており、栄養士によるカロリーチェックも行っている。食事を食べ残さないよう、一人一人の食事量に注意し、水分摂取にも配慮している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 日頃からスタッフの手洗いを励行し、発生時のマニュアルがある。排泄物の取り扱い時は手袋を使用している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 布巾は毎日ハイター消毒している。毎日の買い物や配達で新鮮な食材を利用している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関まわりに季節の花を植えている。玄関には靴の脱ぎ着がしやすいよう椅子を置いている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) カーテンや電気で明るさを調整している。リビングは季節の花を飾ったり冬はこたつを置いたりしている。 (外部評価) 広々として明るい雰囲気共用空間である。畳の部屋を設け、居間のコーナーにはソファを置いて、寛いで生活できるよう配慮している。しかし、季節感を感じさせる工夫があるとはいえない。	※	季節の花や飾りを用意するなどしてホーム内に季節感を取り込み、利用者を感じ取ってもらえるよう工夫することを期待する。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファに座って休んだり、入居者さん同士で話したりして過ごされている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時に今まで使っていた愛用品などを持ち込み落ち着ける空間となっている。 (外部評価) 思い出の写真や馴染みの物品を持ち込み、思い思いの部屋づくりを行い、落ち着いて安心した生活が送れるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) リビング、各部屋に温湿度計をおきこまめに温度調節している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) フロアはバリアフリーとなっており、廊下には手すりが設置してある。歩行状況に合わせ居室の整頓などに注意している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 必要に応じ迷いやすい所には目印をつけている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭には畑があり野菜などが植えてある。ベランダは洗濯物や布団を干したり、気分転換に気軽に外に出れる場所となっている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	理念にも掲げてあり常に利用者の思いに添うよう心がけている。 一人ひとり一日の過ごし方は様々である。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	日程に決まり事はないので、その日の入居者さんの様子に合わせて過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	居室で休んだり、リビングで話したり思い思いに過ごしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	言葉で表現出来なくても、普段の様子で必要とする援助をしている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	歩行状態の良い入居者さんは散歩や買い物に出る機会を設けている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居により薬が確実に内服出来ている。 看護師が常勤しており医療面をサポートしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	持ち物や食べ物に対し初めから制約はなく、状況に応じ検討している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	常にコミュニケーションをとるよう心がけている。 家族にはいろいろな思いがありすべては聴けていないと感じる。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	親類や近所の方、1階の住宅の入居者さんが訪ねて来てくれる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の方と顔見知りとなる良い機会である。
98	職員は、生き生きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	短期間で退職する職員もおり、定着することを願っている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	もっと自由に外出したいと思っている人、家に帰りたいと思っている人様々であると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	入居により安心した生活が送れていると思うが、現状に満足することなく一人ひとりの生活を大切にしたいと思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

ホームの都合による制約事はなく、様々な事柄に柔軟に対応をしている。
スタッフは、常に入居者さんのことを一番に考え、その人らしく生活出来るように心がけている。
開設4年目を迎え地域との関わりも徐々に増えてきており、馴染みの関係を大切にしていきたい。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームおくじま

(ユニット名)

雅ユニット

記入者(管理者)

氏名

記入者 青木 ひとみ 管理者 山内 キシエ

評価完了日

平成 20 年 4 月 30 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設当時に職員で話し合い理念を作り共有している。 (外部評価) 開設時に職員で話し合っ定めた理念「地域住民とのふれあいを大切にし、個人の意思を尊重し、笑顔で過ごせる支援」を全職員で大切にしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) スタッフルームに表示し、共有している。折にふれ確認している。 (外部評価) 毎月のミーティングの中で常に理念に立ち返り、全職員が共有し合っ具体的にケアに活かせるよう努めている。理念は受付、事務所などに掲示し、職員間での意識付けと来訪者への啓発に役立てている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 入居時、契約時に家族に渡し、確認していただいて運営推進会議でも折にふれて説明と理解を得られるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 自治会や公民館活動に参加し役員としての連絡先や相談場所として利用している。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 老人会の参加や自治会の加入、慰問や催しがある時は近所の方にも声をかけお誘いしている。 (外部評価) 近くの公民館で開催される老人会などの定例イベントに参加したり、小学校で給食を共に楽しんだり、幼稚園の餅つき大会などにも参加している。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 老人会の参加と共に、婦人会のお世話や行事実計画に参加している。地元の看護学生の実習を受け入れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の目的や意義について、全職員に説明し昨年の外部評価についても報告し相談している。 (外部評価) 前回評価で指摘された点のうち、健康診断は個人別に記録する、外出の希望にはできる限り応じる、ていねいな言葉遣いに努める、などは職員が話し合っ改善に取り組んでいる。しかし、利用者を交えた夜間想定災害訓練は今後の課題として残されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 毎月ミーティングを行い、運営推進会議の内容や要望などについて話し合っている。 (外部評価) 2か月に1回、8名程度の参加を得て開催している。会ではホームでの生活の様子を具体的に報告し、出席者から意見や希望を聞き取り、サービス向上に活かしている。出席者の所属や発言者の氏名等が記載されていないので、会議録全体がつかみにくい。	※	出席者の所属や発言者の名前等も会議録に明記し、分かりやすい記載方法に改善することが求められる。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 必要に応じて連絡を取り確認して指示を仰いだり報告している。 (外部評価) 運営推進会議等で市担当者とは十分な情報交換を行っている。会議以外にも必要時には情報交換を行い、ケアの改善に役立てている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修に参加し報告をしたり、対象者が居る時は、説明や相談できるようにしている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修の参加や報告会の場所をもち、折にふれて説明をしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時、契約事前に家族に渡し、確認していただき契約時にも説明している。スタッフルーム前の廊下にも掲示して閲覧できるようにしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者やご家族の意見や希望は、朝夕の申し送りや必要に応じてミーティングで話し合い対応している。苦情については、相談して記録している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) グループホームでの様子は、毎月手紙を書いてお知らせし、健康管理については、ご家族に主治医と相談していただき、必要に応じて受診している。 (外部評価) 家族の来訪時には、月1回程度は定期的に金銭出納帳を確認してもらい、利用者の生活の様子や健康状態を具体的に知らせている。またホーム便りを数か月毎に発行し、家族に届けて情報を伝えている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族来所時に様子をお知らせして相談し、意見箱や外部機関の資料も置いている。 (外部評価) 家族の来訪時には意見や希望を聞き取っている。ホーム内には苦情受付窓口を設けているが、外部機関等は明記されていない。	※	家族からの声を積極的に聞き取り、家族が意見を表す機会を確保するため、外部の苦情相談窓口を書類に明記し、また家族にも説明して把握してもらい取り組みが求められる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員は定期的に意向調査をして、意見や提案を聞いている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の生活時間帯に職員を多く配置し、季節行事や催しなどがある時などは、事前に話し合い対応している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 馴染みの関係を大事にするために、ユニット間の職員の異動はせず対応している。馴染みの少ない利用者に対しては、利用者様との相性を考慮し、職員間のチームワークでフォローしている。 (外部評価) ユニットごとの職員配置は固定しており、新しい入居者には全職員でフォローし、戸惑いのないよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修には段階に応じて参加できるように配慮している。研修後は報告会をして共有している。 (外部評価) 毎月ホーム内で勉強会を行い、ホーム外の研修にも習熟度等に応じて参加している。参加者は報告書を作成し、ミーティングの際に報告を行い、全員で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) グループホーム協会に参加し、県内の研修や、市内の管理者会などで情報交換をしている。 (外部評価) 近くのグループホームと協力して研修を重ねており、管理者は市内のホーム管理者と情報交換を機会あるごとに行い、具体的にケアの向上に活かしている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 定期的な意向調査や食事会などを開き、折にふれて相談の場をもっている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) ミーティングの時に、課題を決めて勉強会を開き取り組んでいる。個々の課題に関しては、相談し解決できるようにしている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用者の様子や言葉から発する信号を手がかりに、即答、即決のみを解決とせず、時間をかけてかかわる努力をしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族とは来所時に様子をお知らせし相談し、情報交換している。また月一回は、手紙で様子をお知らせしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 介護保険に戸惑っている方には、状況により、必要に応じて介護相談をしたり、居宅の紹介をしている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居にあたり利用者様の状況により、デイサービスの利用時より声かけや様子をうかがい、顔なじみとなるよう努めている。 (外部評価) 利用希望者や家族がホームを訪ねて生活の様子を見学し、さらに必要に応じて1泊の体験利用も受け付けながら、徐々に馴染めるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日常生活の中で、生活の知恵や季節の行事や旬のものなどを教えていただいています。 (外部評価) 日々の生活の中で、各々の好みや力に応じて出番を多く見つけ、共に支え合いながら楽しみを分かち合っている。手伝いなどが難しい利用者には声かけを心がけ、心のふれあいに努めている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 在宅での生活を大切に、生活習慣はできるだけそのまま継続できるように援助している。ご家族から、家庭での様子や嗜好をお伺いしてケアしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 入居時にバックグラウンドの記入をしていただき、ご家族や本人からも話を聞きケアをしている。日頃の様子はお手紙や来所時にお知らせや相談をしている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入居時に、自宅で使用していた馴染みの物を持参して使っていただき、入居者様のご近所までお出かけしている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 入居者様同士が楽しく会話できるように、明るい話題を提供したり、季節や行事の話をしている。ゲームや娯楽を楽しめる空間作りをしている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 居宅やデイサービスの利用、グループホーム独自の新聞の発行しており、地域の催しや作業なども参加し途切れない関わりをめざしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者様の様子や話を聞き、本人の意向を伺っている。人名や場所は、ご家族にも聞きケアの参考にしている。 (外部評価) できる限り声かけを多くし、本人の立場から何を望んでいるのか把握に努めている。家族の声も機会を捉えて聞き取り、ケアに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者様やご家族の他に、面会者や入居までに関わっていた方とも一緒にお話する中で、本人らしさを発見できるように日々努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日常生活で、一緒に寄り添い関わることで、1日の生活リズムに合わせて声かけをしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 毎月ミーティングを行い、利用者様の介護計画やケアについて話し合っってプランを作成している。 (外部評価) 毎月ミーティングで本人の生活の様子を全職員で話し合い、家族の希望も聞き取りながら、必要な場合はかかりつけ医に相談しながら、本人本位の計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 毎日申し送り時に話し合い、必要に応じて家族に連絡し、ケア内容に変更が必要と思われる時は、プランを立て直している。 (外部評価) おおむね3か月に1度の見直しを行っているが、それぞれの利用者の生活の様子や健康状態を考慮しながら、臨機応変に見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 毎日介護記録を記入し、申し送り時に共有している。折にふれショートミーティングを開き個別に話し合っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) デイサービスの催しに参加させてもらったり、高齢者住宅の方とのご近所付き合いをしている。 (外部評価) 付設のデイサービスの音楽会や夏祭りの行事などに参加したり、外出を好む利用者は車で出かけ、散歩を希望する利用者には安全に気をつけて支援を行っている。また付設の高齢者用賃貸住宅の入居者との交流も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 自治会や公民館活動に参加し役員として活動し、地域の方にも理解と協力をしてもらえるように努めている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 利用者様の地域の事業所の情報や、地域の企業の催しなど、お誘いいただき参加している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要に応じて権利擁護についての資料を提示し、外部の資料もパンフレットと一緒に置いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 定期受診は家族をお願いしているが、普段の様子を伝え、必要に応じ病状報告書を渡している。 (外部評価) 定期的な受診は家族をお願いしている。受診結果の内容は詳細を個人別に記録し、利用者の健康管理には十分注意を払って支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 利用者様の様子や症状により、主治医と相談していただいたり、必要に応じて専門医の受診を相談している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師は各ユニットに配置しており、利用者様や職員がいつでも相談できるようになっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には介護サマリーを書き、入院中の様子や病状は家族や医療機関の方よりいただいている。職員も様子を伺いに行っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 普段からご家族とのコミュニケーションを大切にし、連絡や相談できる関係作りをしている。終末期に対しては、医療連携や介護力を含めて相談を繰り返し全員で方針を共有している。 (外部評価) 看取り介護に関してはマニュアルに沿った学習を行い、家族の要望を充分取り入れ、主治医等と連携をとりながら対応にあたっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 介護力や医療連携、家族の協力ができるよう普段からコミュニケーションを大切にしている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入居時には、自宅で使用していた馴染みの物を持参して生活用品として使用していただき、可能な限り一緒に寄り添い、加えてご家族にも訪問をお願いし本人の心のサポートに努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 普段から言葉遣いには注意をし、折に触れてミーティングなどで話し合い確認している。 (外部評価) 親しさからぞんざいな言葉かけをしないよう、利用者の誇りを大切にした言葉かけに努めている。個人情報に関しては全職員が充分理解し、適切に対応している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者様の希望の奥にある思いを理解できるように日常のケアを心がけて、本人が意思決定できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 日頃より、認知症について理解できるように勉強会を開き、利用者様を尊重したゆとりある介護ができるよう努めています。 (外部評価) 声かけを大切にしながら、利用者のその日の気持ちや状態に応じて、希望に合った楽しい生活ができるよう支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 毎日の化粧や衣類も一緒に選んでいる。理美容に関しては、ご家族や本人の希望も聞き、行きつけの美容院に行ったり、訪問理容を利用している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の片付けは、利用者様が一緒に手伝ってくださり、職員と一緒にしている。 (外部評価) ほとんどの利用者が食前の手伝いを依頼することは難しいが、食後の片付けが可能な利用者には極力手伝ってもらっている。食事介助の必要な利用者には傍らに座って声をかけながら支援し、全員が食事を楽しめるよう配慮している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ご家族が持参して下さった物は、本人と相談のうえ一部預かったり、自己管理できる方は、本人管理としている。本人の希望や、職員の声かけにより一緒に買い物に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者様の状況に合わせ、さりげない声かけや誘導、失敗時の交換を心がけている。排便に関しては、主治医の処方薬を服用したり、水分や食事にも注意している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 利用者様の希望を聞き、気持ちよく入浴できるように配慮している。 (外部評価) 本人の希望にあわせて入浴支援を行っている。入浴を嫌がる利用者には居室でじっくり話すなど工夫し、3日に1度は入浴して寛いでもらえるよう努めている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中、居室にいる時間の多い方にはフロアにお誘いしたり、夜間眠れない時には一緒に話しながらタイミングを見て声をかけている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 季節行事を楽しんだり、老人会行事の参加、日常生活では食事の下ごしらえや洗濯を一緒に楽しんでいる。 (外部評価) 洗濯物たたみ、掃除、食後の片付けなど、できる限り出番を持ってもらうよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭は、本人とご家族の希望に合わせて様々な管理をしている。ご自分で持っている方も、本人が不安な時は一時的に預かったりもしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 気候の良い時は、買い物や散歩、公園までドライブをしている。ご家族にも様子をお知らせし、外出できるようにお話している。 (外部評価) 利用者の希望に沿って散歩や買い物に出かけている。また近くの公民館で催される老人会の定例行事などにも参加している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 普段のご本人の話より、自宅や幼少時の思い出の場所など可能な範囲で外出している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話やお手紙は希望すればかけていただいています。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 生活時間帯はいつでも訪問していただいています。来所時はフロアで話したり、居室でお話ししたりされています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束はせず、入居者さんの尊厳を大切にしている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 常に見守りが出来るように心掛けている。見守りの補足として、入り口には鈴を付けている。 (外部評価) 利用者の心理的圧迫を避けるため、日中は施錠していない。玄関には鈴をつけ、全職員が利用者の安全性には細心の注意を払っている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ご家族の連絡先や職員の連絡網を作り、連絡が取れるようにしている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 持ち込み品リストを記入していただき管理している。利用者様の状態に応じてご家族とも話し合い対応している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 環境整備に努め個人のADLや認識に合わせて、安全に留意している。事故につながると思われる事柄には、即時対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時の連絡網や緊急時マニュアルを作成し、いつでも確認使用できるようにしている。折にふれてミーティングや申し送りでも話し合いをしている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 緊急時の連絡網や緊急時マニュアルによって、即時対応できるようにしている。夜間の連絡先など折にふれて確認している。 (外部評価) 緊急時マニュアルを作成し、日中想定職員による災害訓練を年に2回行っているが、利用者を含めた夜間想定災害訓練は行われていない。マニュアルをファイルに綴じているので、緊急の際に即座に役立てることが困難と思われる。	※	マニュアルは、緊急時には即座に手にとって見られるよう、ホームの要所要所に備えておくことが求められる。また、夜間想定の利用者も交えての実践的な訓練を毎年実施することを望む。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時の様子は、毎月手紙で報告し、来所時にも様子をお知らせして相談をしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調不良時はご家族に連絡相談している。受診後は主治医の指示により対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 内服管理は、個人別に服薬作用・副作用を記入し、職員はいつでも確認できるようにしている。必要時には、看護師にも相談している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分摂取に努め、献立や食材には食物繊維の多い物を使用している。便秘について折にふれて勉強会や申し送り時に説明している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後歯磨きをしている。介助が必要な方は介助している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 嗜好品調査や食事量のチェックをしている。摂取量の少ない方にはご家族にもお聞きしたり、嗜好品を中心に勧めている。 (外部評価) 食事量、水分摂取量を記録しており、栄養士によるカロリーチェックも行っている。食事を食べ残さないよう、一人一人の食事量に注意し、水分摂取にも配慮している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) ご家族と相談し、予防注射の実施をしている。毎朝の床消毒、排泄後の消毒をしている。手洗いはペーパータオルを使用して感染予防に努めている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 毎日次亜塩素酸ナトリウムで消毒をする。食材は原則的にその日に使用している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関には、季節の花を飾り、庭には季節の野菜を栽培している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節毎に飾りを置き、のれんは季節で入れ替えている。台所やフロアは明るく、トイレは廊下の角に3か所あります。 (外部評価) 広々として明るい雰囲気共用空間である。畳の部屋を設け、居間のコーナーにはソファを置いて、寛いで生活できるよう配慮している。しかし、季節感を感じさせる工夫があるとはいえない。	※	季節の花や飾りを用意するなどしてホーム内に季節感を取り込み、利用者を感じ取ってもらえるよう工夫することを期待する。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロアではテーブルや和室、ソファを利用しお話ししたり、互いに居室を訪問したり思い思いの時間を過ごしています。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室には自宅より馴染みの物を持参していただき、できるだけ落ち着いた環境作りに努めている。 (外部評価) 思い出の写真や馴染みの物品を持ち込み、思い思いの部屋づくりを行い、落ち着いて安心した生活が送れるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 温度、湿度は毎日2回記録し、換気や加湿器で対応している。各居室にも温度計を設置して随時対応している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 台所や洗濯場はオープンフロアになっており、家事を一緒にこなしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 利用者様の普段の様子よりできる事とできないことを把握し、さりげない声かけを心がけています。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) お天気のいい日は一緒に布団干しをしたり、庭で過ごしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用様との関わりを大切にし、ご家族のお話を聞いたり、職員間でも利用者様一人一人の思いについて話をしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	フロアでお話ししたり、様子を見てお部屋を訪問してお話しています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者様一人一人のできることとできないことを見極めて対応している。居室で過ごす時間も大切にしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者様は一人一人のペースで生活しており、職員は助言や一部手助けをしている。明るい話題を提供できるように心がけている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	買い物や散歩、老人会の参加をしている。季節行事はすべての利用者が参加しているが。すべての方のお出かけは困難な場合がある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ご家族や利用者様と相談し、必要に応じて受診している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者様のお話や様子を伺いながら、意向を知りご希望に添えるよう努めています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	普段よりご家族とのコミュニケーションを大切にし、お話している。困った事や相談には時間をとりゆっくり対応している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	ご家族や知人の方などが来所して下さっています。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	会議には地域の方にも参加いただき、入居者様の様子やホームの様子知っていただき、支援していただけるようになってきた。
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ケアにおいて、ストレスはできるだけ溜めないように声をかけたり、職員間で相談できるようにしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員からの働きかけで、利用者様の笑顔が見られる時もありますが、なかなか納得いかないこともあります。時間をかけて寄り添い関わっています。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ほぼ満足いてくださっていると思います。日頃より来所時にはお知らせや相談をしています。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

入居者様の意向を伺いながら、一緒に寄り添って関わり、笑顔で穏やかに毎日の生活が送れるように努めています。